



降りしきる雨の中で＝10日国会議事堂前

## 安倍政権の 退陣を

# 6・10国会前大行動 強雨について2万7千人参加

「9条改憲NO！政治の腐敗と人権侵害を許さない！」をスローガンに掲げ、ウソだらけの政治を変えるため、安倍政権の退陣を求める国会前大行動が10日開かれました。強い雨をつ

いて2万7千人が集まり、取手からも多くの参加がありました。大行動は20以上の市民団体で作る実行委員会の主催で行われ、立憲野党の国会議員や市民団体の関係者が演説。日本共産党

からは小池晃参院議員・書記局長が連帯あいさつ。また今国会で審議されている「働き方改革」法案を「何としても廃案に」と過労死した遺族の訴えほか、「もう安倍政権にはガマンできない」など多くの発言がありました。

参加者は「辺野古新基地建設絶対反対」「モリカケ疑惑徹底追及を」などと唱和しました。

### 新潟知事選

## 野党共闘の池田氏が大健闘

6月10日、投開票された新潟知事選挙。市民と野党の共闘候補の池田ちか子候補は当選には及ばなかったものの、原発論戦をリードし、安倍政権丸抱えの相手候補を追い詰め、46%の得票で大健闘しました。当選は自公が推した花角英世氏です。市民と野党は更に共闘を進める決意を固めました。

6月  
県議会

## 原発廃炉を必ず。 暮らし、医療守れ

開会中の県議会。日本共産党は、県民の諸要望の実現を求め一般質問に立ち、知事に迫りました。（今議会は、山中たい子県議〈つくば市〉が一般質問に立ちました）。

### 東海第2原発廃炉を知事は決断せよ

今年11月に40年となる東海第2原発（東海村）の運転延長を日本原電は申請。日本共産党は、同原発の廃炉の決断を行うよう知事に求めました。

これまで知事は「福島で証明されたとし、原発の安全は絶対ではない」と言ってきた。であれば、東海第2原発は再稼働させない。よって96万人の避難計画は必要ない、と言うのが筋。すでに提出されている31万筆を超える再稼働反対の署名や運転延長反対署名にしっかり応えよ。

知事は「県民の声に耳を傾ける」と言いつつ「国の調査会が原発は低コストでクリーンと示した」「安全・安心の観点で慎重に対応」などとあいまいな答弁に終始しました。

### 農業所得の向上・県は種子条例の制定を

種子法を国が廃止したことにより、国の制度として県から低価格で農家に

提供されてきた稲、麦、大豆などの種子が、今後は高いお金を支払わねばならず農家は立ちいかない。埼玉、新潟、兵庫県では、農家を守るため、県が種子条例を制定した。農業県全国3位の本県も主要農作物の種子生産を守るため、種子条例を制定せよ。

知事は、新たな県要綱をつくり対応する。条例化は必要ないとする、と答弁。

### 保健所の統廃合、認められない

これまで知事は「選択と集中」で保健所機能の強化につながるとして、来年4月から現在の12カ所から9カ所へと削減するとした。住民サービスの低下であり、認められない。本県の保健師数は103人で、人口10万人当たり全国36位です。

知事は、窓口の設置やITの活用により水準の低下を招かないよう配慮する。保健師の確保に努める。

## 県が 取手管内道路整備状況を説明

上野県議らに  
竜ヶ崎工事事務所が上野たかし県議と市議団に説明



5月30日、県竜ヶ崎工事事務所管内、本年度事業実施個所の整備等について、同工事事務所長、道路整備課長らが日本共産党取手事務所を訪れ、上野県議及び4人の党市議に説明しました。

相野谷川の護岸整備や守谷市みずき野から取手市に

続く守谷藤代線の用地補償、今後の進捗、国道294号線白山8丁目の歩道橋の廃止等は、地域の安全、市民生活に直結するとし、早急な対応を求めました。

上野県議、市議団はこれらの要求を県・市に届け実現を図ります。



# 東海村・避難訓練 まず最初は取手で

東海村は原発過酷事故を想定し広域避難訓練を計画、取手市、守谷市、つくばみらい市との避難協定に基づく避難訓練を7月から開始するものです。訓練は取手市が最初で7月16日、藤代南中への避難。(協定上は取手市へは2万3000人です)当日は村民100人と職員100人がバスと乗用車で来ます。訓練の内容は避難所の立ち上げなどです。東海原発が過酷事故を起こした場合、水戸

市や周辺の97万人が避難を余儀なくされることとなります。

## 訓練よりも廃炉を

東海原発の再稼働に7割を超える取手市民が反対です(3月共産党実施の市民アンケートより)。ところで、70キロの距離にある取手市。その時、市民は避難しなくても良いのでしょうか。「再稼働やめ廃炉を」と多くの市民は求めています。

## 「いじめ問題」 総務文教常任委員会 市は、保護者会の要請に応えよ

5月25日、教育委員会の対応に関し、議会総務文教常任委員会が開かれ、傍聴者として女子中学生の遺族、保護者などが参加しました。中学生自死事件に関し、去る3月24日に開催した当時同学年の保護者及び生徒を対象に行われた保護者会に関連して開かれた

総務文教常任委員会教育委員会の対応についての疑念、再度保護者会の開催を求める声などが出されました。県の第三者委員会の結果待ちでなく、自死事件に真摯に向き合い、検証を市教育委員会としてしっかり総括を行うことは、市・教育委員会の最大の責任です。議会もこの事を曖昧にしてはなりません。

開会中の取手市議会(6/7～22)。6月8日に一般質問を終えた加増・遠山の両市議の議会でのやり取りを紹介します。(関戸・小池両市議の一般質問は次号掲載します。)

## 10月から高校卒業までの医療費助成拡大

### 加増みつ子市議

市は、かねてから要望が出されていた高校卒業までの医療費助成を、所得制限なしで今年10月からの実施を明らかにしました。私は窓口負担(1回600円月2回まで)をなくし子育て応援をと求めましたが、市は「窓口負担は必要。医

療費抑制のため」と答弁しました。

また、生活道路や通学路の整備予算も不十分で、なかなか進みません。駅西口に再開発ビル建設計画促進で、税金投入は膨らむばかりです。大型開発より、医療・福祉、暮らし応援など市民生活第一の税金の使い方に切り替えをと、質しました。

## (ポートピア)ギャンブル施設は いらない

### 遠山ちえ子市議

藤代地区の元自動車教習所跡地に、ギャンブル施設「競艇場外発売場(ポートピア)」設置の話が地元にあります。共産党が行った市民アンケートに寄せられた「反対してほしい」とする声を受け、一般質問で取り上げました。

国交省の許可要件は、地元自治会等の合意が必要として、設置事業者が説明に入っています。交通渋滞など周辺道路への影響や通学路もある地域に与える影響等が想定され、「ギャンブル施設はいらない」と、市の姿勢を質しました。

市は、「市長の同意書も必要であり、地元の情報に注視していく」と答弁しました。

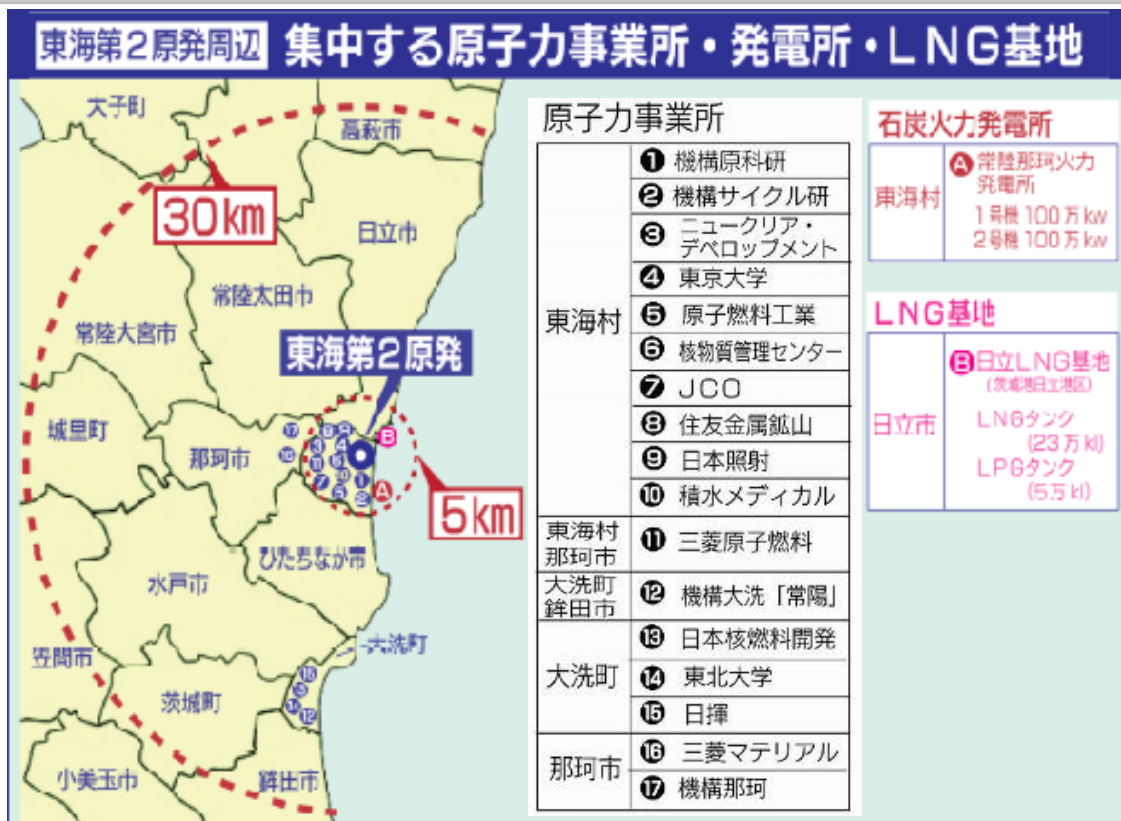
## 6月市議会 日本共産党の 一般質問

# 子育て応援、 安全・安心の地域を求める

12月県議選の争点(シリーズ1)

## 東海第2原発 国民の声で運転延長でなく廃炉を

首都圏でただ一つの原発・老朽化した危険な原発



東海第2原発の周辺、30キロ圏内は県都水戸市など96万の人口の密集地です。今年11月に稼働40年となる同原発が再稼働すれば、沸騰水型原発では世界で前例のない長期運転となります。

再稼働の認否について、原子力規制委が審査中です。廃炉を求める声が茨城県内にとどまらず全国的な運動に広がっている今、改めて「東海第2原発」について

どんな原発か、何が問題か、どうすればいいのかなど——考えてみませんか。